CHRISTMAS CAMPAIGN

「この子を救う。未来を救う。」キャンペーン

クリスマスまでに3000人のチャイルド・スポンサーを募集しています!

今、あなたにできることがあります

ワールド・ビジョン・ジャパンは、11/2(月)～12/28(月)まで、厳しい環境に生きる世界の子どもたちに支援の手を差し伸べるため、「この子を救う。未来を救う。」クリスマスキャンペーンを行います。キャンペーン期間中、3000人のチャイルド・スポンサーを募集します。

今も、

世界の5人に1人が1日150円未満で生活しています。
1億6795万人の子どもが児童労働を強いられています。
5700万人の子どもに教育の機会がありません。
毎日約1000人の子どもが、水が原因で命を落としています。
年間590万人の子どもが5歳になれずに命を落としています。

このような子どもたちの未来を変えるために、いろいろな方法でこのキャンペーンにご参加いただけます。

1 知る / 知らせる

世界の子どもたちの笑顔、哀しみ、今必要としていることをお伝えしているワールド・ビジョン・ジャパン公式 SNS アカウント、Facebook、Twitter、Google+をフォローしてシェアしてください!

2 体験する

チャイルドと支援地域の“今”を実感いただけるオンラインサービス「マイ ワールド・ビジョン」はご存知ですか?すでに 1万 5000人の方が利用してくださっています。まだの方はぜひご利用ください!

マイ ワールド・ビジョン

3 「スポ友」を作る

チャイルド自慢をしたり、一緒にチャイルドに会えるツアーに参加したり。「スポ友」を作るとそんな素敵な体験をシェアできます。友人や知人にチャイルド・スポンサーシップを紹介して「スポ友」になろう。

ワールド・ビジョン　スポ友

4 募金する

紛争の影響下にある地域では、多くの子どもたちが栄養不良に苦しんでいます。子どもたちに必要な食糧を届けることができるように、募金にご協力ください。

ワールド・ビジョン　水と食糧のため

5 チャイルドを増やして支援する

ワールド・ビジョン・ジャパンでは、クリスマスまでに 3000人のチャイルド・スポンサーを募集しています。チャイルドもう一人分のご支援を追加していただける方、または新しくチャイルド・スポンサーになってくださる方はご連絡ください。チャイルドをご紹介します。クリスマスキャンペーン期間中に支援の追加、または新しくチャイルド・スポンサーになってくださった方にはこちらのペンケースをプレゼントしています。

株式会社デザインフィル様よりご提供

0120-465-009（申込専用）

**一人で“何もかも”はできません。
でも、誰かが「この子」を救おうと
“何か”を始めることから、「未来」は変わっていくはずです。
このクリスマス、ぜひ、あなたにできることを見つけて
力を貸してください!**

World Vision News No. 183
2015年 11月発行　ワールド・ビジョン ニュース

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2ハーモニータワー 3F
TEL 03-5334-5351(平日9:30～17:00) FAX 03-5334-5359
dservice@worldvision.or.jp
www.worldvision.jp

World Vision
この子を救う。未来を救う。

World Vision News

No. 183 2015年 11月 ワールド・ビジョン ニュース

World Vision
この子を救う。未来を救う。

特集

この子を救う。未来を救う。

誰も取り残さない! 世界が目指す新しい目標「持続可能な開発目標(SDGs)」とは?

1日の終わりに、笑顔を見せてくれたモスミちゃん（バングラデシュ）

特　集

この子を救う。
未来を救う。

今、あなたはどこにいますか？
私は、モスミ。ここにいます。

バングラデシュの首都ダッカにある巨大なゴミ山
4歳の時から、毎日休むことなく通っています
売れるゴミを見つけるために

初めてここに来る人は言います
「ひどい臭いだ。有害な物質だらけの危険な場所だ」
裸足の足がガラスで切れることは、日常茶飯事です
でも、私はこの場所のおかげで生きています
1日中働いて、稼ぎは15タカ（約23円）
このお金で、その日に食べる物を買えるのです

今、10歳です
学校には行っていません

大きくなったら
洋服をつくる人になりたいです

モスミちゃんを動画で見る

特集

危険なゴミ山を毎日踏みしめている裸足の足

Mousumi`s Life

モスミちゃんの日常
バングラデシュ

バングラデシュ：6％以上の高水準で経済成長する一方、人口密度世界一ともいわれる首都ダッカは大気汚染や莫大な廃棄物、貧富の差の拡大など問題を抱える。約40％の子どもが労働を強いられており、十分な教育を受けられていない。

特集

モスミちゃんとつながる世界の問題

今、世界の都市人口は、毎年約 6000 万人ずつ増加していると言われていますが、その約３分の1 はスラムで暮らしています※。都市の人口増加の一因は、農村で生計を立てることができなくなった人々が押し寄せていることです。都市では、農村と比べ豊かな教育や医療サービスが間近にありますが、多くの子どもたちがその恩恵を受けることなく、貧困の中で生きています。

対策として、都市の貧困地域で支援を行うことはもちろん重要です。一方で、農村での生活に安定と希望を見出せるようになれば、都市に移住しなくてもすむようになります。ワールド・ビジョンは、モスミちゃんのように貧困の犠牲になる子どもが一人でも少なくなることを目指し、都市と農村の両方で支援活動を行っています。

※ユニセフ 世界子供白書 2012

スーパーのレジ袋から動物の死骸まで、ありとあらゆるゴミが運び込まれるゴミ山で、缶やペットボトルなど換金できるものを探します

ほっとできる食事の時間はつかの間

今、世界では…

150円未満/DAY
世界の５人に1人が
1日150円未満で生活

167,950,000
1億6795万人の子どもが
児童労働を強いられている

57,000,000
5700万人の子どもに
教育の機会がない

1,000/DAY
毎日約 1000 人の子どもが、
水が原因で命を落としている

5,900,000/YEAR
年間 590 万人の子どもが
５歳になれずに命を落としている

夢をかなえるパパイヤの木
チャイルド・スポンサーシップが育む希望

マスド君（10 歳）の住む家の狭い敷地に植えられたパパイヤの苗木。経済的な事情で今は学校に通うことが難しいマスド君は、このパパイヤの木が未来を変えてくれるかもしれない、と期待を寄せます。無事に育てば実を売って家族の収入が増え、再び学校へ通えるようになるからです。自分も食べれば栄養状態が改善するでしょう。

このパパイヤの木のプロジェクトは貧しい家庭の生計向上のために試験的に始められた試みです。チャイルド・スポンサーシップによる支援は、物資を供与するだけではなく、地域の人々と一緒に支援の成果が長く続く活動を行うことが特徴です。支援を受ける人々が、スタッフと一緒に知恵を出し合って、地域の特性に合った支援活動を行っています。

マスド君の家に植えられたパパイヤの苗木

特集

「この子を救う」ことから始まったチャイルド・スポンサーシップ

ワールド・ビジョン創設者ボブ・ピアス

チャイルド・スポンサーシップは、ワールド・ビジョンの創始者、ボブ・ピアスが、第２次世界大戦後、混乱が残る中国で、貧困で今日を生き延びることもままならない一人の女の子に出会い、「この子」を救おう、と施設に月々の送金を約束して女の子を託したことから始まりました。

一人で“何もかも”はできません。
でも、誰かが「この子」を救おうと
“何か”を始めることから、
「未来」は変わっていきます。
ご支援くださる一人ひとりの力が集まって、
今この瞬間も、「未来」は変えられています。

ワールド・ビジョン・ジャパンは、さらに多くの子どもたちを救うため、「この子を救う。未来を救う。」キャンペーンをクリスマスまで行います。

詳しくは本誌の裏表紙（P12）をご覧の上、応援をどうぞよろしくお願いします！

エチオピアの子どもたち

誰も取り残さない！

世界が目指す新しい目標「持続可能な開発目標（SDGs）」とは？

2015 年は、子どもたちの未来にとって大きな節目の年。9 月の国連総会で、「持続可能な開発目標」が採択されたのです。しかし、この目標について知る人は、あまり多くありません。そこで、子どもたちの未来に直結する大切なこの目標について、ワールド・ビジョン・ジャパンの柴田スタッフが分かりやすく解説します。

柴田哲子（のりこ）
政府・国際機関などの政策決定者への提言や市民社会を巻き込むキャンペーンなどを実施するアドボカシー・チームのリーダー。6 歳の女の子のママ。

「持続可能な開発目標（SDGs）」って何？

国際社会が 2030 年までに達成すべきゴールを定めたもので、Sustainable Development Goals を略して SDGs とも呼ばれています。9 月の国連総会で採択されました。「あらゆる形態の貧困の解消」「飢餓の解消」「質の高い教育の完全普及と生涯にわたって学習できる機会の向上」など、17 の目標が設定されています。「誰も取り残さない」ことを掲げていること、野心的な目標を含んでいること、途上国だけでなく先進国も対象としていることなどが特徴です。

定期的な身体測定により栄養不良の子どもが 10 年前に比べて 16% も減少（ベトナム）

解説します

2001 ～ 15 年までは、「ミレニアム開発目標（MDGs）」という、8 つの目標を設定していました。国際社会が努力した結果、実際に 5 歳未満の子どもや妊産婦の死亡率が大きく改善したのです！しかし、目指していた数値には届かず、目標は SDGs に引き継がれました。

なぜ SDGsは子どもたちにとって大切なの？

社会の中で、子どもは弱い存在です。過去、子どもたちの声が世界のリーダーに届くことはほとんどありませんでした。しかし SDGs が決定される過程では、様々な環境に生きる子どもたちの声がヒアリングされ、そして目標に反映されました。これは、国際社会が子どもを重要な存在として認めたということです。すべての子どもたちが、貧困や飢餓から解放され、健康で、平等に教育を受けることができ、安全に暮らすことができれば、子どもたちが生きる未来はより良いものになるのです。

シリア難民の少女。SDGs は、達成の過程で「誰も取り残さない」ことを目指します

ワールド・ビジョンは SDGs にどう関係しているの？

SDGs をまとめる過程で、目標の中心に子どもたちが据えられることを目指して、市民社会や政府・国連機関へ働きかけました。特に MDGs からの残された課題である、乳幼児死亡率の削減、栄養不良の改善、子どもに対する暴力撤廃などが SDGs のゴールに採択されるよう訴え続け、実際に採択されるに至りました。今後は、これらの目標が少しでも実現に近づくよう、戦略を立てて活動を続けます。

MDGs 達成に際し、「5 歳未満の子どもの死亡率を下げよう！」と訴えるキャンペーン「命の木プロジェクト」を実施。皆さまからの賛同の声と政策提言書を、国連総会に臨む日本の政府代表（中央）に届けました（2014 年 9 月）

私たちにできることはあるの？

世界 3 位の経済大国に住む私たちと、例えば、乳児死亡率ワースト1位のシエラレオネに住む人々の生活はまったく違います。その違いを知ること、他人に話すこと、イベントに参加することなど、日本に住む私たちが世界の問題について少しずつ興味・行動の範囲を広げていくことが、SDGs 達成につながります。

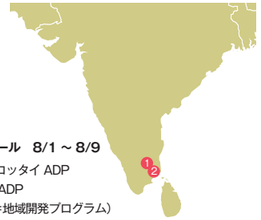
娘と同じ年齢の女の子のチャイルド・スポンサーです。9 月、個人訪問でインドの支援地域を訪れた時、彼女が暮らす厳しい環境と激しい格差を目の当たりにしました。一方、日本においても確実に格差は広がっています。SDGs が達成期限を迎える 2030 年には、チャイルドも娘も成人しています。彼女たちの瞳にうつる世界が、誰も取り残さない世界になっているよう願いつつ、SDGs 達成に向けアドボカシーを続けたいと思っています。（柴田）

インド訪問ツアーレポート

皆さまの支援で笑顔が生まれています！

10 名のチャイルド・スポンサーと、インドの 2 つの支援地域を訪問しました。
多くの子どもたちと村の人たちが、輝くような笑顔で歓迎してくれました。

インド訪問ツアー集合写真



栄養プロジェクト

子どもたちの栄養不良が課題となっているこの地域では、栄養価の高い食事を作るトレーニングを行っています。定期的に子どもたちの体重測定をし、体重が増えていることをお母さんたちに伝え、家でも同じ食事を作るよう指導しています。キラユ ADP では、栄養不良の子どもたちの割合が 52%（2012 年度）から 40%（2014 年度）に改善されました。

教育プロジェクト

プドゥコッタイ ADP では、「子ども議会」のひとつを訪問しました。子どもたち自身が地域の課題を話し合い、地域の活動に積極的に参画しています。議長の女の子、副議長の男の子が堂々と話し合いの場をまとめている様子が印象的でした。

経済開発プロジェクト

特に貧しい世帯の収入向上を支援しています。プドゥコッタイ ADP では、2014 年度に 200 世帯にヤギを支給しました。ヤギは牛と比べて飼育しやすく、半年ほどで子どもを産むようになるため、増えたヤギを売って収入を得ることができるほか、ミルクは子どもたちの貴重な栄養源になっています。ヤギの繁殖に成功し、ミルクで栄養状態も良くなった女の子がいる家を訪問しました。

チャイルドとの対面
「やっと会えたね！」

チャイルドとの対面は感動的でした！チャイルド・スポンサーから届いた手紙を持ってきてくれた子もいました。日本から送った手紙を大事に持っていてくれていることに感激しました！

バングラデシュ
訪問ツアー
参加者募集中！

2016年３月　実施予定
詳細はホームページで随時更新
ワールド・ビジョン　ツアー
※訪問国の治安状況によりツアーを中止させていただく場合があります。

遠い国からの贈り物

チャイルドと手紙の交流

チャイルド・スポンサーシップでは、日本のチャイルド・スポンサーと支援地域の子どもが手紙を交換することができます。手紙やグリーティングカードの交流を通して、チャイルド・スポンサーは子どもたちの成長を実感できるだけでなく、子どもたちの心を豊かに育みます。日本からの手紙やグリーティングカードはチャイルドや家族にとって宝物になります。

▼今回のストーリーは動画でご覧いただけます

チャイルドが手紙の返事を書くまで

日本のチャイルド・スポンサーからのグリーティングカードとプレゼントを受け取り笑顔のジョン君。

ジョン君と家族。スポンサーから届く手紙やカードはジョン君の大切な宝物。

ジョン君が返事を書いている間、妹弟たちは届いたメロディが流れるカードに興味津々。何度も聞いて楽しんでいます。

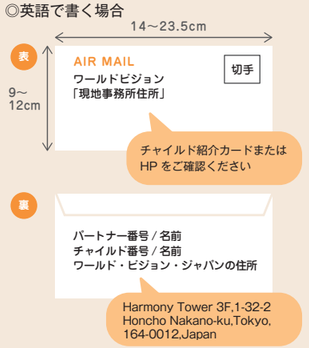
返事を書くジョン君とワールド・ビジョンの地域ボランティアをしているお母さん。

グリーティングカードを送ってみませんか？

日本のスポンサーからの手紙やカードは、途上国に住むチャイルドや家族にとって大きな励ましとなります。途上国の郵便事情や翻訳のために、チャイルドの手元に届くまで約 2 カ月かかりますが、クリスマスや新年のお祝いに、グリーティングカードを送ってみませんか？

封筒の書き方

◎英語で書く場合



◎日本語で書く場合
日本語でグリーティングカードをお書きの方は支援国までの切手を同封のうえ、ワールド・ビジョン・ジャパン事務局にお送りください。訳を付けて、現地事務所へお送りします。
（定形 25g まで、厚み 1cm まで：アジア 90 円、中米 110 円、アフリカ・南米 130 円）

ホームページから

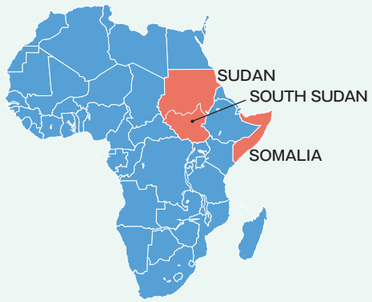
ホームページから簡単に手紙を書くことができます。季節に合ったテンプレートを選び、写真を添付することもできます。

ワールド・ビジョン　E レター

お正月のデザインもあります

【お願い】
●紛失防止のために、同封物のギフトにはチャイルド番号を必ずお書きください。
●封筒は必ず定形内サイズでお送りください。大きな郵便物は、妬みや盗難の原因になったり、現地事務所に関税が請求される場合もあります。せっかく送った手紙がトラブルの原因にならないためにご理解とご協力をお願いします。
手紙の送り方について詳しくは、ホームページやチャイルド・スポンサーシップガイド（P6-8）をご覧ください。

内戦を逃れ、ケニアのカクマ難民キャンプで生きる南スーダンの子どもたちへ食糧配布を実施



子どもたちの命をつなぐ食糧支援

子どもたちを追い詰める長引く紛争

アフリカのソマリア、スーダン、南スーダンは、長引く内戦により深刻な食糧不足が継続し、ソマリアでは 42%、南スーダンでは 31%の 5 歳未満の子どもたちが栄養不良です。ワールド・ビジョンは、これらの国々で大規模な食糧支援を展開し、特に子どもたちや妊産婦など、立場の弱い人々に配慮するとともに、人々の自立心を損なわないことを目指して支援活動を実施しています。

国連世界食糧計画 (WFP) との連携

ワールド・ビジョンは国連世界食糧計画（WFP）と連携して食糧支援を実施しています。WFP は配布する食糧を調達し、ワールド・ビジョンは、支援を必要とする人に公平に配るためのロジスティックスを担います。具体的には、ニーズ調査を行って支援対象者と配布方法を決定し、食糧の運搬と配布を行います。配布の記録と終了後のモニタリングも重要な仕事です。

働くと受け取れる支援 ～フード・フォー・ワーク～

食糧支援には、食糧を今すぐ必要としている栄養不良の子どもや妊産婦のために、穀物や豆類、食用油、栄養価の高い食事などを配給する支援と、働く場を提供し、労働の対価として食糧を渡すフード・フォー・ワーク (Food for Work) という支援の方法があります。

内戦の長期化のように、食糧支援が必要な根本原因が取り除かれない場合、支援は長期化し、人々は無力感を抱いたり、援助に依存する傾向が強まったりします。しかし、フード･フォー･ワークでは、人々は働いた「報酬」として食糧を受け取るので、支援を受けながらも自立心を保つことができます。また労働により堤防や貯水池など災害に備える施設の建設や、食糧生産力をつけるための耕作地の整備などを行うため、地域環境の改善にも貢献します。多くの女性たちが参加し、我が子に与える食糧を得ています。

フード･フォー･ワーク支援により灌がい用水を造る工事に参加する女性たち

今、「水と食糧のための募金」にご協力いただくと、内戦下の過酷な状況で生きる子どもたちの命をつなぐことができます。ぜひ、ご協力をお願いします。

ワールド・ビジョン　水と食糧のため

INFORMATION

途上国の子どもたちを応援するリンクバナーができました！

より多くの方に、世界の子どもたちの支援の輪に加わっていただくために、ワールド・ビジョン・ジャパンのバナーを皆さまのホームページやブログに貼ってくださいませんか。ご協力いただける方は、ホームページのお問い合わせフォームより「リンクバナーの申請」をお選びいただき、バナーを掲載予定のサイトの URL とともにご連絡ください。

デザイン全 10 種類

SNS のプロフィールに使えるバッジもご利用ください！

SNS のプロフィールなどに、ご自由にお使いいただけるバッジもご用意しましたので、ぜひご利用ください。

デザイン全２種類

事務局からのお知らせとお願い

フィリピンの支援地への個人訪問受付けを再開しました

2013 年 11 月 8 日にフィリピンを襲った台風 30 号の復興活動のため、レイテ、サマールの両地域への訪問をお受けできない状況でしたが、今年 9 月より両支援地への個人訪問の受付けを再開しました。支援地への個人での訪問をご希望の方はお問い合わせください。

修復が完了した民間ホールに集まった子どもたち

お引越しされましたか？

皆さまのお手元に、確実に支援金の領収証をお届けできるよう、新しい住所を 12月 22日（火）までにコンタクトセンターまでご連絡ください。ホームページからも各種手続きを承っています。

コンタクトセンター
三野スタッフ

寄付金控除等のための領収証発行について

当団体は、東京都より「認定 NPO法人」として認定を受けており、皆さまからの支援金は寄付金控除（所得控除）または寄付金特別控除（税額控除）の対象となります。皆さまへ、2016 年 1 月 19 日（火）に領収証を発送する予定です。2015 年 1 月 1 日～ 12 月 31日までに領収した支援金が対象です。なお寄付金控除・寄付金特別控除の申請方法や詳細についてはお近くの税務署へ直接お問い合わせください。

年末年始休業のお知らせ

2015 年 12 月 29 日（火）～ 2016 年 1 月 3 日（日）は年末年始休業のため、事務局のお問い合わせ対応をお休みさせていただきます。なお、メールやホームページからのお問い合わせなどには 1 月 4 日（月）以降に順次回答させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

コンタクトセンター
TEL　:03-5334-5351（平日 9:30～17:00）
Eメール :dservice@worldvision.or.jp

世界に思いをはせて VOL.3　事務局長　片山信彦

インドの支援地域にて

イギリスのある調査会社の調査によると、日本国民の国際 NGO に対する認知度・信頼度は諸外国のそれに比べて大変低いそうです。もっとも、日本の場合、信頼度が低いのは、NGO だけでなく、政府や企業も低いのですが…。調査方法や調査対象者がはっきりしないことなどがあり、この調査の信頼度の問題はありますが、調査した約 30 カ国の中で日本は信頼度がほとんど最下位という結果にショックを受けました。日本の社会が、NGO のような非政府で市民の思いや支援を基礎とする活動への理解が十分でないというのは事実だと思います。日本の NGO の歴史が比較的に浅いことや政府・行政主導の社会構造の故かもしれません。NGO が社会から信頼を得て、社会に支えられるためには、何よりも、開発途上国の人々に直接届く質の高い、成果の出る事業を行い、その結果を支援者の方々に分かりやすく届け、支援の成果を実感していただくことが重要だと改めて思いました。信頼を得るには、まずは NGO が頑張るのだ！